

令和6年度
臼井中学校
第3学年進路だより

学励進

令和7年1月28日
第57号

文責:大越 秀行
「覚悟は必ず試される!」

「神がかり」とは

千葉県公立高等学校一般入学者選抜本検査日の2月18・19日(火・水)まで残り3週間となりました。1年生に入学したとき、2年生に進級したとき、3年生に進級したとき、この日を思い描いた人はどれほどいたでしょうか。見通しを立てて考えていた人は、ほとんどいなかった



のではないのでしょうか。私も本気で考えて入試のための勉強を開始したのは3年の夏休みからだだったと記憶(今から49年前のことだから…)しています。しかし「時は人を待たず」です。時は確実に積み重ねて、今を迎えています。「もう3週間しか…、まだ3週間もある…」しっかり意識して一日一日を積み重ねたいですね。くれぐれもやるべきことを後回しする、罪重ねは後悔しか残りません。

さて、ここ数日、日本で一番話題に上がっていたのが『イチロー選手』です。大リーグで大きな功績を残した選手などが対象となる(選考対象の条件としては、大リーガー選手として、10年以上プレーした人)アメリカ野球の殿堂入りが21(火)に発表され、シーズン262安打の大リーグ記録を持つイチローさんが選ばれました。注目されていた満票での選出には1票届きませんでしたが、日本選手のアメリカ野球殿堂入りは初めての快挙です。過去、資格を得ていた日本のパイオニアとしてドジャースで大いに活躍した野茂英雄投手もワールドシリーズでMVPを受賞したヤンキースに所属していた松井秀喜選手も選ばれませんでした。選ばれるには打者であれば3000安打や500本塁打、投手の場合は300勝を達成することが条件になるということです。



ここで、イチロー選手の日本での功績を振り返ってみます。

□1991年12月ドラフト会議で指名順位4位でオリックス入団決定。
□1992年18歳でのシーズンヒット数は24本、翌年93年は19歳では12本でした。
□94年からレギュラー選手として20歳で210本、95年21歳で179本、96年22歳で193本
□97年23歳185本、98年24歳181本、99年25歳141本、2000年26歳153本でした。
以上のように9年間、日本でプレーし94年首位打者としてリーグ2位、95年打点王盗塁王としてリーグ1位、96年には3年連続のMVP選手としてジャイアンツを破り日本一になりました。



「神戸は僕にとって、今も特別な場所」とオリックスに所属し、高卒1年目から9年間を過ごした街をそう表現しています。30年前、阪神大震災で神戸が甚大な被害を受けた1995年は彼にとって忘れられないシーズンでした。

94年パ・リーグ2位になり、チーム自体に地力があり「がんばろうKOBE」のワッペンをユニホームの袖につけ、震災の年、95年復興のために「優勝を目指して被災者を励まそう」と口に出さずともチームは1つになっていました。「プロ野球でチームが結束するとういことはなかなかない。当然ですよ。自分の結果を出さないとクビを切られちゃうから。春から秋まで、日本シリーズが終わるまで結束できたのは、あの年だけだと思う」その中心にいたのが21歳のイチロー選手でした。当時の同僚たちの回想からは期せずして「イチローが神がかっている」という言葉がありました。「イチローに打席が回ってきた。これは勝てるパターンだ。そういうのがあった。神がかったというか団結力があった」…と。勉強ができる環境もチームプレーで、やった分は一人一人に必ず返ってきます。だからこそ、ここまで努力してきたことを元に神がかりで当日迎えたいですね。人生における3つの坂、まさかのために日々の取組、まわりの人のためにどう取り組むかです。見えない力が後押ししてくれるほど心強いことはありません。

が21歳のイチロー選手でした。当時の同僚たちの回想からは期せずして「イチローが神がかっている」という言葉がありました。「イチローに打席が回ってきた。これは勝てるパターンだ。そういうのがあった。神がかったというか団結力があった」…と。勉強ができる環境もチームプレーで、やった分は一人一人に必ず返ってきます。だからこそ、ここまで努力してきたことを元に神がかりで当日迎えたいですね。人生における3つの坂、まさかのために日々の取組、まわりの人のためにどう取り組むかです。見えない力が後押ししてくれるほど心強いことはありません。

金子。kq実が勝ったというかちーむむ注目度を日を含めて卒業式当日まで登校日数はアト34日間となりました。カレンダーの日数では50日間になります。まさに『時は人を待たず』です。ものごとは、始まれば必ず終わりが来るという有限という考え方にもつながります。

さて、私立高校受験を体験された生徒のみなさん本当にがんばりましたね。『結果は正直』です。すから希望する想いと結果が合致した人とそうでない人と分かれました。しかし、この結果こそが進路を選択する自分にとって、より適したものにつながると私は思います。そこで、私立第1希望で進学先が決定した生徒のみなさんは、学校生活において公立第1希望である学級の仲間の受験が終了するまで、日々の授業では同じ姿勢で取り組みより学力が定着するようがんばりましょう。(受験のプレシャーがかからない分落ち着いて取り組めるので効果は大です)また、学級の当番係活動では、余裕ができた分積極的に取り掛かって大いに徳を積んでいきましょう。「入試に向かう姿勢が個人戦ではなく団体戦である」と言われる所以がここに 있습니다。

人生最高の贈りものは『何』？

公立受検出願関係の手順についての確認として

締切が早まりました。お忙しい日々ですが、ご協力よろしくお願いいたします。